

ハロー・キャリアワーク通信

令和7年11月吉日
教育総合センター
事業推進担当課

11月16日(日)、リコーブラックラムズ東京との連携によるハローキャリアワークの1回目が行われました。会場は、宇奈根にあるリコー総合グラウンドに隣接した本部のクラブハウスです。今回のテーマは、「世田谷のチーム『リコーブラックラムズ東京』をみんなのアイデアで応援しよう！」です。小学5年生～中学3年生を対象に8名募集したところ3名の応募となりましたが、少数精鋭で張り切ってワークに取組みました。



はじめに本日の参加者とスタッフ、事務局担当者が自己紹介をしたあと、「アカデミー・ホームタウン担当」の大山大地さんから、リコーの会社のことやラグビー部の歴史、ブラックラムズのチームの目的や目標、スタッフの仕事などについて、画面を映しながらとても詳しい説明がありました。はじめて知る内容に、子どもたちは興味深く聞き入るとともに、熱心にメモを取る子もいました。

次に大山さんから、なぜこのプログラムに参加してみようと思ったのかという質問がありました。スタッフとして従事してみたい、ラグビー関係者の仕事を知りたい、ラグビーに興味がありもっと知りたいなど、みんなしっかりと今回の志望動機を話しました。さらに、試合会場を盛り上げるアイデアを発表しました。スターティングメンバーを知らせる、ルールを紹介する、応援する一員になる、ラムまるの綿菓子をつくる…などいろいろ出されました。アイデアは一旦大山さんが持ち帰り、この中ものが出てくるかもしれません。



その後、ふだんは滅多に立ち入れない場所を見せていただく、「オフィスツアー」を行いました。部外秘の部分もあるので、残念ながら写真は掲載できません。

最後に、ラグビーボールをしました。実際に樽円のボールに触れて、投げて、持って走って、蹴って…と短い時間でしたが、芝生の上で気持ちよく体を動かすことができました。スタッフの一員として、ラグビーを少しでも体験しておくことの意味は大きいです。



ワークを終えての振り返りでは、「いろいろな考えがあることに気づいた」「大きな目標を達成するために協力し合っていることがわかったので、私も協力しようと思った」「ラグビー関係者がどんなことをしているかがよく分かった、次の試合のときに仕事をするのが楽しみになった」などが出されました。

次回は、いよいよラグビーリーグワンの開幕戦、秩父宮ラグビー場で子どもたちはスタッフとして従事します。子どもたちの活躍が楽しみです。

